

実験・工作・サイエンスショー

- ・1校につき1つのメニューをお選びください。時間は打合せの際、スケジュールに合わせてご相談します。
- ・**クラス単位で実施します(上限38名)**。入替時間は10分程度かかります。2クラス同時に体験することはできません。
- ・<例>11時からの工作で2回に分ける際、所要時間が30分のもの・・・11:00-11:30、(入れ替え10分)、11:40-12:10

	タイトル	内 容	持ち帰り	対 象				人数	時間
				幼	小/低	小/高	中		
1	【ショー】科学マジック 	<p>科学の原理を使ったマジックを行います。身近にあるものを使ったマジックがほとんどであるため、自宅や学校で、再現したマジックを実施することができます。</p> <p>生徒の「なぜ？」を引き出し、トリックを見破る感動と学習意欲を高めます。</p>	×		○	○	○	38名	20分
2	【実験】スライムを作ろう 	<p>ぷよぷよした感触が魅力的なスライム。スライムは液体と固体の要素を併せ持つゲルです。液体の特徴と固体の特徴を紹介した上でゲルの様子を観察し、ゲルとはどんな物質かを考えます。</p> <p>ポリビニルアルコール(PVA 洗濯のり)にホウ砂水溶液を加えてよく揉む事で、液体からゲル状に変化していく過程を体感することができます。</p> <p>実験道具の正しい使い方を学び、科学を体感できます。</p>	○ チャック付袋に入れたスライム		○	○		38名	30分
3	【実験】人工イクラを作ろう 	<p>アルギン酸ナトリウム水溶液を塩化カルシウム水溶液にスポイトで滴下し、人工イクラを作ります。</p> <p>まずイクラの構造(膜の中に液体が入っている)を考えた後、スポイトで試薬を滴下します。液体中にできた人工イクラを茶こしで回収、チャック付き袋に水と共に封入します。人工イクラと同様の構造をしている身近な製品も紹介します。</p> <p>実験道具の正しい使い方を学び、興味関心を高めます。</p>	○ チャック付袋に入れた人工イクラ		○	○	○	38名	30分
4	【工作】くきおばけ 	<p>身の回りにありながら、色も形もおいもなく、重さや体積を感じることもない「空気」がテーマです。ポリエチレン製の袋を使った工作を行い、遊びの体験を通してその存在を体感し、初歩的な理解を促します。</p>	○ 工作物	○	○			38名	20分
5	【工作】飛ぶタネをつくらう 	<p>飛ぶタネをテーマに、植物がタネを広範囲に散布する方法を紹介します。</p> <p>紙を材料に「タネの模型」を工作し、実際に飛ばす体験を通して、植物の不思議にせまります。</p> <p>★ 2025年度の予約より選択可</p>	○ 工作物	○	○			38名	20分
6	【工作】分光シートで虹色万華鏡をつくらう 	<p>光を虹色に分ける分光シートを使って、万華鏡を作ります。工作を通して、私達が目にしている光は、いくつかの色が合わさっていること、虹はその色が分かれて見える現象ということ学びます。</p> <p>持ち帰った万華鏡のみえる図柄は、自分で自由に変えることができます。</p>	○ 工作物			○	○	38名	30分